

②次のことを確認しましょう。

○猫の一生の幸せと健康に責任をもてますか？

猫は室内飼いと平均で15年～20年くらい生き、それなりに費用もかかります。エサ代、トイレの砂、爪とぎ、おもちゃ、ブラシなどの必要な物から、避妊・去勢手術、予防接種、病気やけがなどの病院代、薬代などをすべて負担できますか？

今は飼えても、事情が変わることがあります。赤ちゃんができて手放すということや、単身住まいの場合、引越しの時に手放すということがあります。その猫の一生の面倒を見られますか？



○猫を飼ってもよい住居ですか？

ペット禁止のアパートやマンションなどでこっそり飼い始めて、バレたら捨てるなんてことにしてはいけません。

住所が狭すぎたり日が全く当たらなかったりと、「ここで猫が幸せに暮らせるかな？」とためらってしまうような場合は、猫が気持ちよく生活できるかどうかを希望者に問いかけ、よく考えてもらいましょう。猫のためを思ったら、お断りすることも必要です。

○家族に小さい子どもはいませんか？

小さい子どもは、猫とのつきあいかたや加減のしかたがわかりにくいのです。そのつもりはなくても乱暴に扱ったり追いかけて怖がらせたりすると、お子さんのけがや猫の性格がひねくれたりするものになります。お子さんが小さい場合は、猫の飼い方を正しく理解できるようになるまで待つことをおすすめしたほうがよいでしょう。

○飼った経験がありますか？

経験のない人にはわからないことが多いはずなので、しつけの問題などの知識を教えてあげる必要があります。猫の習性を知って、人間との違いを楽しむかなどを確認しましょう。

○避妊・去勢手術はどのようにしますか？

メスの場合、生まれる子どもや、その子どもが生む子どもなどすべてを飼うことは不可能です。オスだと脱走して、外で子どもを生ませてしまうこともあります。避妊・去勢手術についてどうするかを確認しましょう。

○猫だけで留守番する時間はどのくらいですか？

猫だけで留守番する時間が長いと、子猫の場合は

無気力な猫になってしまいがちです。2匹飼うようにするなどの提案をしてみましょう。

サッピーから

僕たちはケータイもパソコンもお金も持っていません。もし何かあってもSOSが出せないの。ちゃんとかわいがってくれる人が、幸せに暮らせる環境かどうか、しっかり確かめてほしいんだ。

メイから

猫と人間は違うの。私たちの習性をよく知って、人間のエゴを押しつけない人と暮らしたいな。

Q4 里親に決まった人に、伝えておくほうがよいことはありますか？

A4 次のことをお伝えしましょう。

- すぐに獣医に連れて行って健康診断をしてもらい、信頼できる先生にホームドクターになってもらうこと。
- 病気の予防接種が毎年必要なこと。
- 寄生虫の駆除とノミの駆除が必要なこと。
- 生後6ヶ月くらいになったら、避妊・去勢手術についてホームドクターに相談すること。

初めて猫を飼う里親さんならば、次のことをお話ししておくとういでしょう。

猫は環境の変化にとっても敏感です。違う環境に連れて来られ、不安と興奮で疲れているので、できるだけそっとしておいてあげましょう。だからといって放っておくのではなく、どこで何をしているか、気を配って優しく声をかけてあげることは大切です。

臆病な猫は物陰に隠れて出てこないことが有りますが、慣れればあちこち隅から隅まで見て回り、においをかぎ回ります。納得いくまで探索してから初めて安心するのです。

